

主な出来事 (2009年10~12月)

	三重・愛知	全国・海外
10月	<ul style="list-style-type: none"> ● 鈴鹿サーキット(鈴鹿市)で、自動車レースのF1(フォーミュラ・ワン)グランプリが3年ぶりに開幕。期間中、約21万人の観客が来場。(10/2~4) ● 経済産業省が2008年の工業統計調査結果を発表。製造品出荷額等は、愛知県(46.4兆円)が32年連続で全国一となり、三重県(11.7兆円)は過去最高を更新。(10/2) ● 中部経済産業局が2009年上期の工場立地動向調査結果を発表。立地件数、敷地面積ともに愛知県は前年同期比大幅減となった反面、三重県は増加。(10/20) ● 津市と四日市市が共同で観光紹介や物販などを通じ、街の魅力を首都圏でPRするイベント「城下町『津』と宿場町『四日市』」を東京・上野公園で開催。(10/23・24) ● J R東海が、10月上旬に上陸した台風18号の被害で運休している名松線の家城(津市)ー伊勢奥津(同)間をバス運行に切り替える方針を発表。(10/29) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国際オリンピック委員会(IOC)総会で、2016年夏季オリンピックの開催地がブラジル・リオデジャネイロに決定。南米で初の五輪開催へ。(10/2) ● ノルウェーのノーベル賞委員会が、2009年の平和賞をオバマ米大統領に授与することを決定。「核なき世界」の提唱などを評価。(10/9) ● 政府が、総額14兆6,987億円に上る2009年度補正予算のうち、2兆9,259億円を凍結・執行停止することを閣議決定。(10/16) ● 経営不振に陥った企業の再建を政府が支援する「企業再生支援機構」が業務を開始。(10/16) ● 政府の緊急雇用対策本部が、2009年度末までの緊急雇用対策を決定。介護や農林水産業などを受け皿として、約10万人の雇用を創出することを目標に。(10/23)
11月 コアーカス	<ul style="list-style-type: none"> ● 伊勢市の伊勢神宮内宮で、式年遷宮の一環で20年ぶりに架け替えられた宇治橋の渡始式(わたりはじめしき)が実施。(11/3) ● 東京発那覇行き的大型フェリー「ありあけ」(7,910トン)が、熊野灘を航行中に横波によるとみられる荷崩れで船体が傾き、南牟婁郡御浜町の沖合で座礁。(11/13) ● 三重県、津市、四日市市、(財)三重県産業支援センターが、フランス南東部のアヌシー広域行政体などとの間で産業協力協定を締結。(11/16) ● 電炉最大手の東京製鉄が、年間約250万トンの薄板生産能力を持つ田原工場(愛知県田原市)を稼働。国内での製鉄所新設は14年ぶり。(11/24) ● 化学大手のJ S Rが、四日市工場(四日市市)内に、次世代半導体の回路形成用材料を製造する、延床面積4,000㎡の新工場を建設し、稼働したと発表。(11/25) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 住友信託銀行と中央三井トラスト・ホールディングスが、2011年4月に経営統合し、持株会社「三井住友トラスト・ホールディングス」を発足させることを発表。(11/6) ● 政府の行政刷新会議のワーキンググループが、2010年度の予算編成に向け、447の事業について無駄を洗い出す「事業仕分け」の作業を開始。(11/11) ● コンビニ大手のファミリーマートが、同業のエーエム・ピーエム・ジャパンを、レックス・ホールディングスから120億円で買収することを発表。(11/13) ● アラブ首長国連邦(UAE)の一角であるドバイ首長国の政府が、政府系持株会社が有する債務の返済猶予を求めると発表。(11/25) ● 東京外国為替市場で円相場が急騰し、一時、1995年7月以来14年4か月ぶりの高値となる1ドル=84円82銭まで円高・ドル安が進行。(11/27)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ● 三重県が提案した、県内の食品関連産業の技術高度化を目指す「みえ“食発・地域イノベーション”創造拠点」事業が、文部科学省の補助事業に採択。(12/4) ● 文部科学省の文化審議会が、日本最古の煉瓦造の灯台である菅島灯台(鳥羽市)など、三重県内の3建造物を国の登録有形文化財に指定することを答申。(12/11) ● 日本銀行名古屋支店が、東海3県(愛知・岐阜・三重)の12月短観を発表。業況判断D.I.(全産業)は▲34と、9月対比13ポイント上昇し、2四半期連続の改善。(12/14) ● 三菱地所が、名古屋駅前の象徴として親しまれてきた「大名古屋ビルヂング」を、2015年度完成を目指し、高さ190mの高層ビルに建て替える計画を発表。(12/15) ● 名古屋市議会は、河村たかし市長が提出した、市民税を10%削減する減税条例案を賛成多数で可決。個人・法人市民税の恒久的な減税は全国初。(12/22) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本銀行が臨時で金融政策決定会合を開催し、年0.1%の固定金利で約10兆円を金融市場に供給する、新たな金融緩和策の導入を決定。(12/1) ● 2005年12月のみずほ証券による東京証券取引所への株式誤発注事件で、東京地裁が東証側に約107億円の支払を命じる判決を言い渡し。(12/4) ● 自動車大手のスズキと独フォルクスワーゲン(VW)が包括提携。VWはスズキの株式の19.9%を取得し、筆頭株主に。(12/9) ● 米ボーイングが、機体に日本製の炭素繊維複合材などを多用した新型旅客機「787」のテスト飛行を実施。当初計画から2年以上遅れての初飛行。(12/15) ● 国連気候変動枠組条約第15回締結国会議(COP15)が、2013年以降の地球温暖化対策の国際的的方向性を示す「コペンハーゲン合意」を承認し閉幕。(12/19)



コアーカス 三重県などがフランス南東部の広域行政体と産業協力協定を締結

11月16日、三重県、津市、四日市市、(財)三重県産業支援センターが、フランス南東部の13市で構成されるアヌシー広域行政体や、現地の産業クラスター、中小・ベンチャー企業支援組織との間で産業協力協定を締結しました。その主な内容は、両地域の技術・ビジネス面の交流活性化や、メカトロニクス技術を活用した共同研究、高等教育機関の連携推進などとなっています。このほか、アヌシー地域は観光資源にも恵まれていることから、観光を軸に、両地域の文化交流を図ることも盛り込まれています。なお、三重県が参画する形で、海外と産業協力を主眼とした協定を結ぶのは初のケースとなります。